福島県立橘高等学校

# 進路だより　第６号

令和５年９月29日

橘高校進路指導部

## 1　大学入試＜総合型選抜、学校推薦型選抜＞

総合型選抜と学校推薦型選抜の出願の時期になりました。
今年度も多くの本校生がこれらの型による出願を予定しています。
これらの選抜を出願する際に重要となる書類や、１・２年生からでも準備できることについて紹介します。

| | |
|---|---|
| **調査書** | 調査書は担任の先生が作成します。調査書の中には高校入学後から現在までの評定平均や出欠の記録や学習の記録などが記入されます。評定平均については高校１年生から高校３年生の成績をもとに算出されます。<br><br>大学が調査書を求める最も大きな理由としては評定平均と欠席日数や遅刻数の確認が挙げられます。なぜなら、評定平均は受験生の学力レベルの参考になりますし、欠席日数や遅刻数は健康状態や生活態度を確認できるからです。<br>また、大学では英語検定をはじめとした保有資格、部活動や特別活動の記録もチェックしています。<br><br>１・２年生からでも準備できることは、授業、定期テスト、課題、小テストやプレゼンテーション等にしっかり取り組み、好成績を目指すことです。また、皆勤（または欠席を少なくする）を目指すこと、部活動や委員会活動に積極的に取り組むこと、英語検定等の資格取得に取り組むことも重要です。 |
| **志願理由書** | 志願理由書は、受験する学校を希望する理由を、文章にして述べるものです。ほとんどの学校の総合型・学校推薦型選抜の出願で、提出が求められます。<br>これを書くためには、自己分析（自分の性格の理解、自分が今までやってきたこと、これから学びたいこと、社会でどう活躍したいか等）がしっかりできているかどうかが重要です。志願する学校への理解（学校のカリキュラムや研究分野等）、社会で起きている問題の知識も必須です。<br><br>１・２年生でも準備できることは、進学先の資料集めをしたり、オープンキャンパスなど校外の活動に参加したり、すでに入学している先輩からの話を聞く、新書や新聞で社会問題について学ぶことです。 |
| **面接** | 総合型・学校推薦型選抜では、面接を行う学校が多いです。個別面接のほかに、集団面接を実施する学校もあります。<br>志願理由や、高校時代に頑張ったこと、どのような勉強をしたいか、他の学校ではなくその学校で学びたい理由、関心のある分野等について聞かれることが多いようです。中には、プレゼンテーションやグループディスカッション、専門分野に関する口頭試問や実技試験を行う学校もあります。<br><br>学びたい専門分野に関する深い知識があったり、専門分野につながるコンクールや大会等での実績があったりすると、自分の良いところをアピールしやすくなります。１・２年生は総合的な探究の時間も活用しましょう。 |
| **小論文** | 小論文とは、自分の主張を筋道を立てて論理的に説明する文章のことです。論理的思考力や読解力、記述力、社会的教養、人間性などを総合的に測ることができるため、多くの大学の総合型・学校推薦型選抜で採用されています。<br><br>社会で起きている問題に日ごろから関心を持っているかというのが出発点になります。新聞記事や新書を読む、社会問題について家族や友達と話し合う、などは１年生からでもできます。国語の授業もがんばりましょう！１・２年生は総合的な探究の時間も活用しましょう。 |

◎総合型選抜や学校推薦型選抜の出願を考えている１、２年生へ

- web 環境（プリンター等も含む）が整っていることが前提です。
- 多くの生徒が希望する国公立大学・有名私立大学の公募推薦は、簡単には合格できません。相当な準備時間、やる気、覚悟が必要です。
- 大学等の示す「アドミッションポリシー」（大学等の公式 HP で見ることができます）に照らして、自分の学びたいことと合っているか、自分に適性があるかどうかを確認してください。
- 出願までの準備や、小論文、面接等の練習にも多くの時間を使います。
- 出願人数に制限がある場合には校内で選考します。その際、「学習成績概況（評定値）」「出欠の状況」が重要になります。
- 出願条件の中に「英語検定」等の資格が求められることがあります。積極的に資格試験に取り組んでいくことを考えてください。

## 2　9 月の行事　「先輩講話」（2 学年）

９月１３日（水）6～7 校時に実施しました。

橘高校を２年前に卒業した先輩方を迎えて、高校生にとって貴重な話をたくさん聞かせていただきました。

| |
|---|
| （薬学部の先輩の講座に参加した感想）<br>自分が一番行きたい学部について話を聞けて自分のモチベーションも上がった。大学に入ってからどんな教科を学べるのか、どんなことをするのか、大学内には何があるのかなど、聞いていて興味が湧くことがたくさんあって面白かったです。薬学部のことについてオープンキャンパスより詳しく知ることができました。 |
| （理学部の先輩の講座に参加した感想）<br>理学は分野が多くて、どういう学問なのかあまりわかっていなかったけど、自然の知識を増やしたり、社会に貢献できるというのがすごくいいと思いました。 |
| （国際学部の先輩の講座に参加した感想）<br>英語で授業をすることがあり、ドイツ語やフランス語、スペイン語なども学ぶと知ってすごく興味を持ちました。国際学部ならではの外国の方とのコミュニケーションがとれ、外国について学べるところがとても魅力的に感じました。 |
| （教育学部の先輩の講座に参加した感想）<br>模擬授業を実施しているとのことで、先輩の話の上手さに納得しました。また、先輩からのアドバイスで「努力の継続をすること」と「勉強の環境を整えること」が大事だと聞いて、自分も頑張りたいと思い、学習意欲が湧きました。 |